



損保ジャパン日本興亜 環境財団ニュース

Vol.6

2018年1月



Sampo Japan
Nipponkoa
Environment
Foundation

発行者／公益財団法人損保ジャパン日本興亜環境財団

〒160-8338 東京都新宿区西新宿1-26-1 TEL：03-3349-4614 FAX：03-3348-8140

URL：http://sjnkef.org/ E-mail：office@sjnkef.org

1. 2017年度環境保全プロジェクト助成の助成先が決定

「環境保全プロジェクト助成」は、環境問題に取り組むNPO・NGO等の活動がより充実したものとなるよう、一件あたり20万円を上限に助成する制度です。15回目となる今年度は「地域の環境保全部門」10団体、「気候変動問題の普及啓発部門」3団体への助成が決定しました。

【2017年度助成先】

①地域の環境保全部門

所在地	団体名	プロジェクト名
愛知県	山崎川グリーンマップ	山崎川の在来種を守る&川ガキ育成
茨城県	つくば市環境マイスターの会	筑波山すごろく
東京都	いたばし水と緑の会	赤塚トンボ池の補修
東京都	めぐみ野自然の会	ビオトープと雑木林の保全活動
茨城県	金田台の生態系を守る会	金田台の森の動植物の記録を将来へ繋ぐ「モニタリング調査」
千葉県	四街道メダカの会	クマガイソウ群落保全事業
京都府	中世木せつぶん草をまもる会	せつぶん草でみんな・なかよく・元気プロジェクト
愛知県	とうえい木の駅実行委員会	とうえい木の駅プロジェクト(志~材搬出会)
鳥取県	グラウンドワーク大山蒜山	名峰大山の西南麓に広がる山村地域でのギフチョウ生息地保護と奥山里山環境再生活動
滋賀県	びわこ豊穰の郷	地元の水辺を守り育てための「水辺探訪講座」

②気候変動問題の普及啓発部門

所在地	団体名	プロジェクト名
京都府	きょうとグリーンファンド	おひさま発電所から地域へ…広がる環境学習
東京都	環境エネルギー政策研究所	「ISEP Energy Chart」ウェブサイトによる電力需要の見える化と自然エネルギーデータの集約
東京都	環境金融研究機構	サステナブルファイナンス大賞審査選定活動

【贈呈式を開催】

12月21日、助成先団体を代表して、「いたばし水と緑の会」(東京都板橋区)を訪問し贈呈式を行ないました。

同会では20年以上に渡り区立公園内の湧水池(赤塚トンボ池)の環境保全に取り組んでおり、専門家の指導を受けながら、地域住民と協働で池周囲の草刈、畦の補修、ザリガニ駆除等を行なっています。申請者の坂本さんは「トンボのヤゴが生息し、湧水が美しい棚田風景を来場者に見ていただくため頑張っていますが、メンバーの高齢化が進み、保全作業への参加ボランティアが減るなど、会の活動にも影響が出ています」とご苦労を話してくださいました。



「いたばし水と緑の会」の坂本さん(右)へ目録贈呈



ボランティアの手で補修中のトンボ池

2. 市民のための環境公開講座「グリーンインフラ見学会(大手町の森)」を開催

10月18日「市民のための環境公開講座」の第2回特別講座として、都会の中にあるグリーンインフラ見学会を、「大手町の森」にて実施しました。こちらは大手町の中心に位置する商業ビル、大手町タワーの一角に「都市を再生しながら自然環境を再生する」をコンセプトに生まれた森です。当日は、森の成り立ち、生息している木や植物、動物や昆虫について説明いただいた後、実際に森を見学し、都会に生まれた森について学びを深めました。(実施協力:東京建物株式会社、内山緑地建設株式会社)



大手町の森について説明いただきました 実際には森を見学します



個別に色々詳しく説明いただきました



小さな草花にも興味津々です

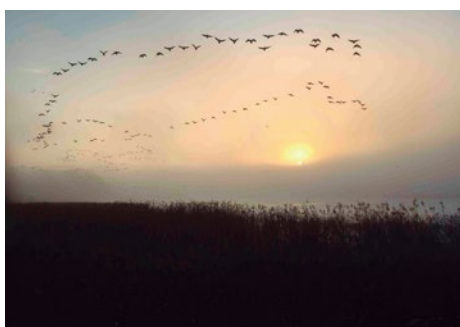
3. CSOラーニングOBOG交流会「いもっしゅく」を開催

環境財団では、大学生、大学院生を環境CSO (NPO)へ長期派遣する「CSOラーニング制度」を全国4箇所で開催しています。11月25日26日の二日間、宮城地区の修了生が中心となって、OB・OGの継続的なネットワークづくりを目的とした同窓会「いもっしゅく」を開催しました。

「いもっしゅく」とは、東北地方の食文化「芋煮」を通じて懇親を深めつつ、環境問題の研修や視察を行なうもの。今年は宮城地区のほか、関東、関西、愛知地区から15名が参加しました。今回は宮城県のラムサール条約登録湿地である伊豆沼を視察し、水質汚染対策や外来種の除去など、環境保全活動について研修を受けたほか、仙台市の東日本大震災の遺構「荒浜小学校」の見学等を行ないました。



震災遺構荒浜小学校を見学



伊豆沼でのマガンの飛び立ちの様子



環境学習会



皆で芋煮を作りました

4. 「かっぱん田」で稲刈り合宿を開催

「かっぱん田」とはCSOラーニング制度の受入先の一つである、茨城県牛久市にあるNPO法人アサザ基金とCSOラーニング生及びOB・OGが協働で運営している耕作放棄地の田んぼです。10月21日～22日に、5月に植えたお米(もち米)を収穫する「稲刈り合宿」が行なわれました。

この田んぼは、水や生物といった自然環境の保全を目的に作られており、毎年、無農薬・無化学肥料でもち米を育てています。

当日は生憎の天気でしたが、現役のCSOラーニング生、OB・OG、地元の中学生など、約30名が参加し、みんなどろんこになりながら楽しく稲刈りを行ないました。2月には、収穫したもち米を使った餅つきを行なう収穫祭を開催し、美味しくいただく予定です。



稲刈りの様子



刈った稲を束にしてまとめます



刈った稲を干しています



集合写真 みんなでかっぱポーズ